

「令和6年度全国キャリア教育・就職ガイダンス」

【日時】2024年6月20日（木）13:00～13:40

ループリックを活用し、PDCAサイクル を徹底したキャリア教育プログラム

名古屋経済大学 キャリアセンター センター付教員 講師 伊藤 繁生

(1) 本学の紹介 (概要)

沿革

1907年（明治40年）4月 名古屋女子商業学校設置の認可を得、5月に開校
1945年（昭和20年）4月 財団法人市邨学園を組織
1965年（昭和40年）4月 市邨学園短期大学を開学
1983年（昭和58年）4月 名古屋経済大学に改称
（本年度学園創立116年、名古屋経済大学として40周年を迎える）

学部・研究科

【学 部】 経済学部、経営学部、法学部、人間生活科学部

【研究科】 法学研究科（修士・博士）、会計学研究科（博士前期・博士後期）、
人間生活科学研究科（修士）

4 学部 3 研究科を有する **地方私立文系中規模大学**

(2) ルーブリックを活用した教育プログラム

キャリア教育	[必修科目] ■ 市民生活と キャリア形成 ※社会科学系3学部対象 [選択必修科目] ■ インターンシップ I・II・III ※社会科学系3学部対象 [選択科目] ■ キャリア支援講座 I・II ※全学部対象				
	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業後
就職・キャリア支援	■ (企業見学) ■ (先輩から学ぶ) ■ (卒業生との交流会) ■ キャリアガイダンス ■ インターンシップ ガイダンス ■ キャリアガイダンス ■ 進路面談 ■ 合同業界・企業研究 ■ 就職活動ガイダンス ■ 履歴書セミナー ■ 面接セミナー ■ 就活直前準備対策講座			■ キャリア ガイダンス ■ 個別企業説明会 ■ 在留資格変更 セミナー	■ 社会人として 就職・キャリア 支援に協力
	資格取得支援講座				
	個別相談				

	経済／経営／法	人間生活
1年前期	1回目のPROG受験	
		必修「合同ゼミ」にて PROG結果の解説
1年後期	必修科目「市民生活とキャリア形成」にて PROG結果の解説	
2年前期	必修科目「インターンシップ」の事前授業にて PROG自己評価ワークシート記入	
5日間以上のインターンシップ実習実施 実施後、企業の方に学生のPROG企業評価シートを記入 科目担当教員宛に提出		
2年後期	必修科目「インターンシップ」の事後授業にて PROG自己評価ワークシート記入 併せて、 企業評価シートを確認し、自身の評価と比較し、 振り返りを行う 企業評価があまりに低い場合、担当教員が個別面談	
3年前期	2回目のPROG受験	
	選択科目「キャリア支援講座1」にて PROG結果の解説	必修「合同ゼミ」にて PROG結果の解説

本学のキャリア教育（1年次必修）

■ 1年次後期開講科目「市民生活とキャリア形成」（必修科目）

【ループリックを活用した授業例】

・ PROGテストの解説

PROGテストの結果を解説し、自分の持ち味を振り返るワークを行う。

・ 学外活動レポートの取り組み

PROGテストの結果で振り返り、強みとなった部分、弱い部分について整理し、約半年の学外活動でコンピテンシーを磨いたことをレポートにまとめる。学外活動ではPDCAサイクルを意識した活動を実施しするよう指導している。

本学のキャリア教育（2年次以降必修）

- 2年次通年科目「インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ」（選択必修）
 - 5日間以上の就業体験を含む、インターンシップ科目
 - 基本的に申込みから実習参加の報告まで、学生自身の主体的な学習で進める
-
- インターンシップ参加者数（実数）

年度	2019	2020	2021	2022	2023
人数 _(名)	460	342	401	483	479

インターンシップのポイント

目 標

(出典) 名古屋経済大学シラバス「インターンシップI・II・III」より

- ① 自分自身にとって働くとはどのようなことか、働くことの意味・意識を考える
- ② 多様な社会人と触れあうことで、自分自身の将来を考える
- ③ 企業などの組織で必要なルール、ビジネスマナー、能力、スキルを知る
- ④ **キャリアを考える際の自身の志向や社会人基礎力など自身の能力レベルを知る**
- ⑤ 書類作成、提出など就職活動を疑似体験する

**初回のガイダンス、企業評価、振り返り会の3回、
学生自身の能力レベル（コンピテンシー）を知るために
PROGテストを参考にした評価項目を活用
（2023年度～）**

インターンシップ単位修得までの流れ

	手順	作成書類
1	初回ガイダンスに出席し、コンピテンシーの評価項目について、自己評価をする。	インターンシップ申込書 (IS-1)
2	実習先を探し、受け入れ先を決定する。	インターンシップ受入報告書 (IS-2) 車両許可申請書 (IS-3) ※必要な学生のみ
3	実習先への必要書類を作成する。	履歴書 (IS-4)、誓約書 (IS-5)
4	実習先への事前訪問日を決し、事前訪問を行う。	事前訪問報告書 (IS-6)
5	インターンシップに参加し、日報を作成して、毎日振り返りを行う。	インターンシップ日報 (IS-7) インターンシップ参加レポート (IS-8)
6	インターンシップ報告会に参加し、コンピテンシーの評価項目について自己評価をする。企業評価も確認しながら最終振り返りを行い、レポートを作成する。	インターンシップ報告書 (IS-9)

手順を進めていく中で、PDCAサイクルを意識して学習を深める

■ 3年次前期開講科目「キャリア支援講座Ⅰ」 （選択科目）

【ループリックを活用した授業例】

- ・ 3年次に受験したPROGテストの結果の解説会を授業内で実施
- ・ PROGテストの結果を用いて、自己PR作成講座を実施。キャリアセンターの就職支援部門と連携し、進路面談時に添削を実施して学生の進路選択支援を進めている。